令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-007

PDCA	事務事業名	図書館、博物館管理運営事業	部課等名	教育部 博物館	担当	榎原	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 3. 文化の継承と創造					
		単位施策： (2) 文化の振興					
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則					
	対象・目的	図書館・博物館が適切に運営できるよう、必要な管理運営を行い、利用者の安全・安心を確保するとともに、施設の維持を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理上必要な保守点検、検査、清掃、庭園維持管理、警備、害虫駆除等の実施 施設管理上必要な公共料金の支払い、物品購入等 利用者の安全かつ施設の維持に必要な修繕等の実施。そのために必要な現状把握と要望提出。 					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①施設及び設備保守等委託件数	9	9	11	件	
		②施設及び設備修繕実施件数	35	41	29	件	
		③					
		事業費	28,154	29,616	36,292	千円	
		人件費	6,989	6,028	6,496	千円	
		総事業費	35,143	35,644	42,788	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①施設及び設備保守等委託費	1,210	1,242	1,264	千円	
		②施設及び設備修繕費	130	108	258	千円	
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		施設が安全・安心に利用できる状態に管理されていること。	実績値	—	—	—	
		※本事業は、施設が安全、安心に利用できるよう施設管理を不備なく行うものであるため、数値的な目標設定は適切でない。そのため、目標が達成された状態を上記のとおり文書にて表記するものとする。	目標値	—	—	—	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		改正建築基準法の施行により、図書館・博物館が特定建築物等の定期報告対象施設となったことを受け、平成30年度は、法令に定める各種調査等を初めて実施した。また、予定していたエレベーター部品や誘導灯等の修繕に加え、利用者の安全に関わる外構や空調等の修繕、建物の躯体に影響を及ぼす恐れのある箇所の補修等、緊急的な修繕に適切に対応した。					
		現施設は、昭和59年に開館しており、建物及び設備の老朽化が進行していることから、今後も修繕を計画的に実施していくが、予測不能な故障等が各所に発生する状態であり、その都度適切な対応が求められる。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		図書館・博物館は、地域文化の振興や市民の学習活動支援にとって重要な社会教育施設であり、利用者の安全・安心と郷土の貴重な収蔵資料の保管環境の確保が必要である。今後も、施設の適切な管理、運営のため、特定建築物の定期調査等で指摘を受けた箇所の改修を始め、施設、設備の各種更新、修繕等を適切に実施していく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		施設が安全・安心に利用できる状態に管理されていること。	—	—			
		※本事業は、施設が安全、安心に利用できるよう施設管理を不備なく行うものであるため、数値的な目標設定は適切でない。そのため、目標が達成された状態を上記のとおり文書にて表記するものとする。					